

コンクリートの耐久性確保に係る措置について

昭和61年6月2日付建設省住指発第142号による「コンクリート中に含まれる塩化物総量の規制」、平成元年7月17日付建設省住指発第244号による「アルカリ骨材反応抑制対策に関する指針」が定められ実施されています。

令和2年11月分の製品の分析結果は下記の通りです。

1. コンクリート中に含まれる塩化物総量の規制

コンクリート1立方メートル中に含まれる塩化物(塩素イオン換算)の含有量を0.3kg以下とする。

ベストン中に含まれる塩分濃度

NaCl 0.002 %

塩素イオン換算値 NaCl × 換算係数

0.002 % × 0.607 = 0.0012 %

[注]0.607は換算係数(Cl/NaCl=35.5/58.5=0.607)

2. アルカリ骨材反応抑制対策に関する指針

普通ポルトランドセメントを使用する場合、コンクリート1立方メートル中に含まれるアルカリ量(酸化ナトリウム換算)の総量を3kg以下とする。

ベストン中に含まれるアルカリ量

Na₂O 0.093 %

K₂O 0.87 %

Na₂O_{eq} Na₂O + 0.658 × K₂O

(R₂O) 0.093 + 0.658 × 0.87 = 0.665 %

3. 単位セメント量を300kgとした場合の計算例

①コンクリート1m³中のベストン量

300 kg/m³ × 6 % = 18 kg/m³

②ベストン中に含まれる塩分

18 kg/m³ × 0.0012 % = 0.000216 kg/m³

③ベストン中に含まれるアルカリ量

18 kg/m³ × 0.665 % = 0.11970 kg/m³

以上

令和2年11月30日

分析試験結果報告書

御中

ベ ス ト ン 株 式 会 社

東京都荒川区西日暮里5-2-19

TEL 03-5615-3165 FAX 03-5615-3166



試料番号	CG02096-02098
試験年月	2020年11月
品 名	ベストン

分析項目	規 格 値	分 析 値	
Ig.loss	6 % 未満	5.62	%
SiO ₂	70 % 以上	70.9	%
Al ₂ O ₃	15 % 未満	10.70	%
Fe ₂ O ₃	5 % 未満	4.55	%
CaO	5 % 未満	1.16	%
MgO	5 % 未満	2.03	%
R ₂ O	1.5 % 未満	0.665	%
NaCl	0.05 % 未満	0.002	%
Na ₂ O		0.093	%
K ₂ O		0.87	%
Cl ⁻		0.0012	%
密 度	2.64 ± 0.2	2.80	g/cm ³

※注 R₂O=Na₂O + 0.658 × K₂O (%)

Cl⁻=NaCl × 0.607 (%)

分析試験実施機関

JFEテクノリサーチ株式会社

ソリューション本部(千葉) 本部長 藤本 京子
〒260-0835 千葉市中央区川崎町1番地(JFE千葉構内)

TEL 043-262-2313 FAX 043-262-2199